

稲美北中学校「コミュニティ・スクール」

「コミスタク」がスタートします。

稲美町では、平成30年度から地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、稲美北中学校でスタートします。今回の「広報いなみ」では、地域の皆さんの「コミュニティ・スクール」に対する理解を深めていただくことと、地域の子どものため、みんなが協力してよりよい学校づくりの推進にご協力いただくために稲美北中学校の取組みを紹介します。

（稲美町教育委員会）

1 なぜ、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）なのか

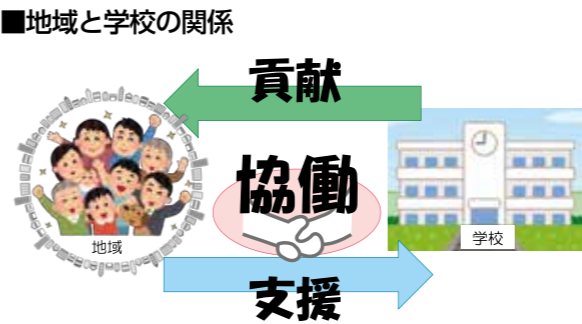
平成18年に改正された教育基本法には、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」の規定が新設されました。社会が複雑で多様化し、子ども達を取り巻く環境も大きく変化の中で、学校・家庭・地域の連携した学校教育の充実や生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上がより強く求められています。

豊かな自然と連続と続いてきた歴史ある稲美町。すばらしい教育風土を持つ稲美町において、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を一層推進していくために、コミュニティ・スクールの仕組みを取り入れ、夢と志を持って

未来へ羽ばたく人を育てていきます。

2 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは

教育委員会が制定する規則に基づいて指定され、「学校運営協議会」を設置した学校を



■地域と学校の関係

「コミュニティ・スクール」といいます。「学校運営協議会」の委員は、学校や地域の実情を踏まえ、教育委員会から任命された保護者、地域住民（以下「地域の皆さん」とします。）で構成されます。

「学校運営協議会」では、先生方や地域の皆さんが「自分達の学校」であるといった当事者意識を持ち、一緒に教育活動について話し合ったり、学校運営の基本方針を承認したりして、学校の課題解決に参画します。コミュニティ・スクールでは、地域の人々も参画し、学校と地域が力を合わせ活動することによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていく学校づくり、地域づくりを進めていきます。このように、「学校

運営協議会」では、地域でどんな子どもを育てていくのかといった目標を共有し、よりよい学校づくりに向けて進むべき方向を明確にしていきます。

将来的には各中学校区において、学校運営協議会による運営を計画しています。中学校区という一つの「地域のまとまり」の中で、家庭・地域と密接に連携することで、小学校入学から中学校卒業までの義務教育9カ年を見通した教育を考えることができるのです。

- 学校運営協議会の役割
- ①学校運営の基本方針を承認すること
 - ②学校の運営全般に意見を述べること
 - ③学校の運営状況を評価すること



第1回学校運営協議会

います。地域の皆さんで、子ども達や学校、地域を見つめ、成果と課題を確認し合い、みんなの知恵と連携で運営していきます。

これまで、稲美北中学校では、よりよい学校生活を送るために、「生徒会座談会」を開催したり、地域の皆さんによって学校周辺の花壇などの整備を行っていただいたりしています。また、地域において、生徒会や部活動による「福祉施設へのボランティア」や先生方も参加する「PTAコーラス」といった活動を行っています。

こうした取組みを通して、学校と地域の皆さんが目標を共有し、一体となって子ども達を育てていくことは、子ども達の豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる地域の皆さんの学習も促し、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもなっていると考えています。



生徒会座談会



PTAコーラス



生徒と地域の人との環境整備

4 今までこれからは、学校と地域をつなぎ、ともに子ども達を育てるために

稲美町の小・中学校は、これまで「地域とともにある学校づくり」をめざして、地域と活動する連携を重視して教育活動を推進してきました。その動きは、コミュニティ・スクールの原点ともいえます。地域コミュニティをともにする人々が、学校という場を中心として、新しい人間関係を結び、その協働を通じて、新たな価値観や成果を生みだしていく。その中で子どもや教職員、そして地域の皆さんも成長していく。これこそが学校がめざす姿であり、これからさらに継承・発展させるべき姿なのです。

今年度から始まった稲美北中学校学校運営協議会では、中学校区で子どもの育ちを地域ぐるみで継続的に支えるためには、どんな組織構造が相応しいかを検討し、地域の実情にあった組織づくりを念頭に、以下の部会構成でスタートしています。

5 コミュニティ・スクール Q&A

Q1 コミュニティ・スクールにはどんな魅力があるのですか？

●取組みの最大の特徴は、学校・家庭・地域が教育する力を向上させることで、地域全体の活性化、まちづくりに結びついていく点です。「コミュニティ・スクール」

力「学校×家庭×地域」という式に例えることもあります。互いの力の相乗効果で、掛け合わされて力を発揮することです。また、先進地域の取組みで地域が活性化されていることが伝えられています。

Q2 学校運営協議会の委員が仕事をすることができますか？

●委員は、自らできることで学校教育に関わる役割を担います。①地域住民の学校運営参画、②地域力を活かした学校支援、③学校力を活かした地域づくり、等の窓口や調整役です。

実際に学校と関わり、子ども達の学習を支え、子ども達に寄り添い、子ども達を見守る、子ども達の未来への懸け橋となるのは、地域の一人ひとりの皆さんです。

Q3 学校の子どもの関わることがありますか？

●子どもにとって、親や教師でない「地域の大人」が果たす役割は大変重要です。また、子どもだけでなく、直接子ども達の声を聞くことは、地域にとって有意義です。